

京田辺市の社会教育について ご意見の集約

各委員からのご意見を、目的、手段別に分類して次のとおりまとめました。

目 的	手段・内容
1 教育の質向上	①大学や企業などの社会インフラの活用 ②中間層（若者世代）に魅力あるもの、企業×中間層といったイベント等の企画 ③団塊の世代に市内の専門家によるより高度な講座の実施 ④部局の枠を超えた企画部門を設置し、タイムリーな講座など魅力的な企画の実施 ⑤参加する人が充実感を得られ持続可能な取り組みの実施
2 学習機会の拡大	①社会教育と防災、福祉等の他部局が事務担当者レベルで連携強化 ②市内団体や各部局の講座・イベントについて各部局が連携を図り情報発信を強化 ③講座等を魅力的で世代間交流ができるものへの見直し
3 福祉と社会教育	①高齢者の新たな価値観づくりに繋がる、魅力的な講座、学びを活かせる場、児童との繋がり、福祉等他部局と社会教育の連携、デジタル格差解消 ②ヤングケアラー問題など、福祉の視点を取り入れた社会教育と学校教育の連携
4 施設・体制 (学習機会の拡大)	①市の貴重な文化財を展示する博物館の設置 ②社会教育施設の増加 ③現在の2倍程度の規模のある中央公民館の設置 ④オープンな会場を創設し、参加型のイベントや市民自らの企画など魅力的な企画の実施 ⑤社会教育施設等の利用料無料化 ⑥社会教育委員の協議機会の増加 ⑦社会教育・公民館職員の増員と専門化
5 地域活性化	①地域のキーパーソン発掘、指導者の質の向上 ②学校外でのスポーツの場の提供 ③地区公民館をベースにした指導者等の組織化 ④地区公民館に、施設管理や事業の支援を行う常駐職員の配置 ⑤南部まちづくりセンターの効果的な活用 ⑥地域の実情に合わせたきめ細かい教育プログラムの実施
6 学校と社会教育 の連携 (主に小学校区)	①コーディネーターが地域人材を発掘し、学校での実技指導に活用 ②学校運営協議会や地域学校協働本部の設置とコーディネーターの配置 ③社会教育と学校教育との連携のためのコーディネーター設置 ④学校と地域との連携強化 ⑤関係者の目線で地域の資源を発掘